

とよはしの下水道施設

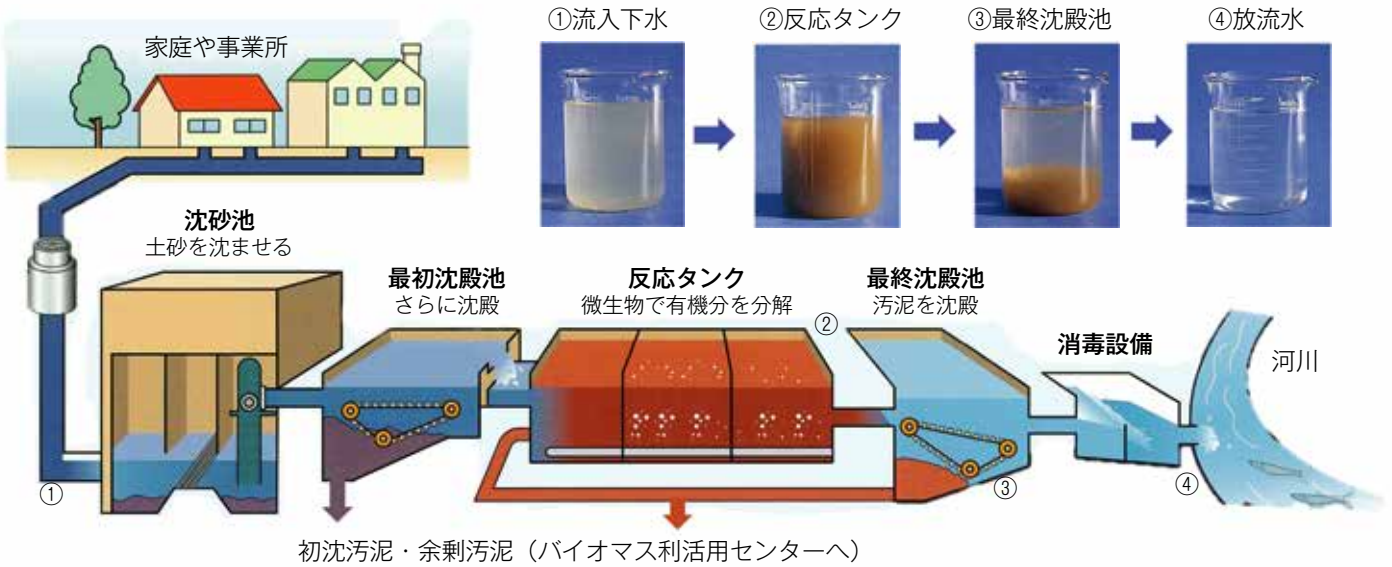
豊橋市には下水を処理するための施設がたくさんあります。その主な施設を紹介します。

中島処理場(下水処理場)

詳細はこちら▶



豊橋市が管理している16か所の下水処理場のうち最大の処理場です。家庭や事業所からの下水を微生物の力を使って処理し、河川に放流しています。

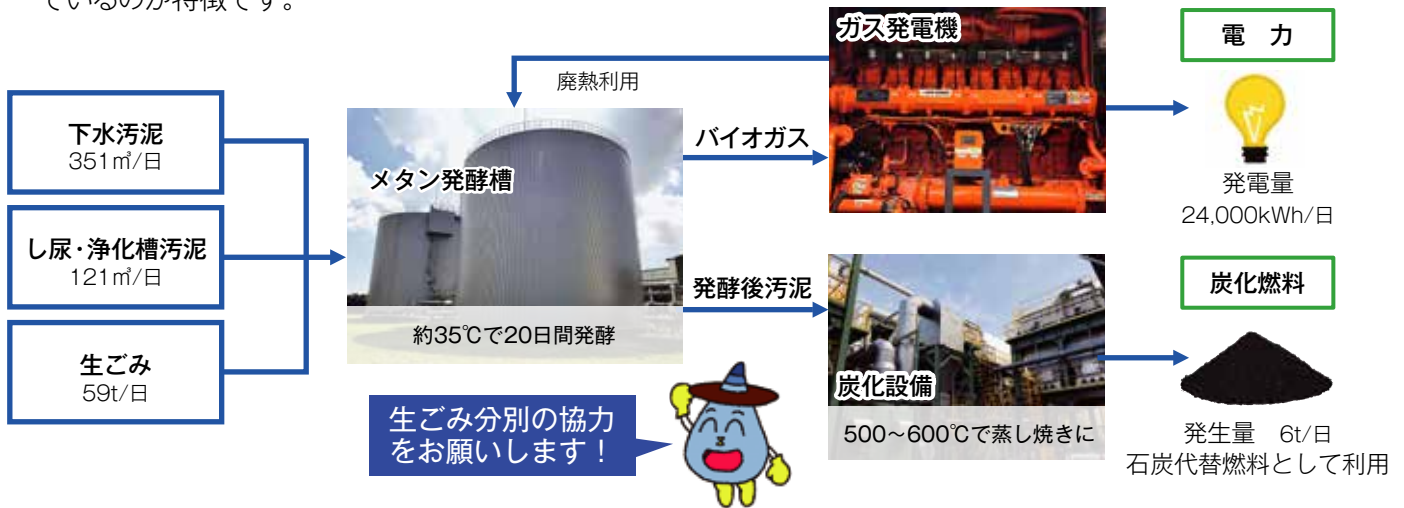


バイオマス利活用センター(汚泥等処理施設)

詳細はこちら▶



平成29年度から、それまで別々で処理していたバイオマス(下水汚泥、し尿・浄化槽汚泥、生ごみ)をこの施設でまとめて処理できるようになりました。メタン発酵技術で電気と炭化燃料をつくり、100%エネルギー化しています。下水汚泥や生ごみなどを有効な資源として利活用しているのが特徴です。



分別しよう! 作・やました ごお (下水道施設課)



みんなはごみを分別しよう!

雨水排水施設

詳細はこちら▶



雨水ポンプ場は、雨水をすばやく海や河川に放流し、浸水から街を守っています。雨水ポンプ場の多くは設備の自動化を進め、運転状況は中央監視室などで集中的に把握して雨水の排水を行っています。また、一時的に雨水を貯めて流量を調整する雨水貯留施設もあります。



雨水貯留施設(前田南雨水調整池)

下水道施設課の業務内容

下水道施設課は、下水処理場・ポンプ場施設の維持管理および新設・改築、下水処理場の水質管理、また事業場から排除される下水の水質監視を行っています。それぞれの業務は、機械、電気、化学、土木、建築の専門的知識をもった技術職員が担当しています。

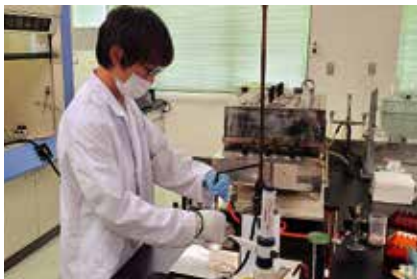
機械・電気職

下水処理場・ポンプ場の維持管理を行っています。主な業務内容は、機械や電気設備に異常があった場合、その原因を調べ、工事の発注を行います。また、バイオマス利活用センターの運転状況のモニタリングも行っています。



化学職

処理場に流入する汚水や、河川への放流水が排出基準に適合しているかを分析します。また、処理場の水質状況を見て反応タンクの空気量や下水汚泥引抜量の調整など、運転方法の検討を行っています。



土木・建築職

新しい下水道施設の建設、老朽化した施設の改築および既存施設の耐震化等を行っています。主な業務内容は、これら事業の計画策定から発注、工事現場の施工監理などです。



新人職員

様々な技術職員が得意分野で下水道施設の維持管理をしていると知り、下水道を当たり前に使えていたことにありがたみを感じました。私も豊橋市の下水道を守るために、先輩方と共に責任感を持って働きたいと思います。

下水道に流してはいけないもの



- | | |
|-------|--------------|
| 油 類 | てんぷら油・ガソリンなど |
| 酸 類 | 塩素系の洗剤など |
| 薬 物 類 | 農薬・消毒液・医薬品など |
| 重金属類 | 体温計の水銀など |
| ごみ 類 | 生ごみ・布・ゴムなど |

せっかくの下水道も、正しい使い方をしなければ、私たちの生活に本当に役立つ事になりません。下水道は、ご利用いただいているみなさんの財産です。あなたの優しい心づかいをお願いします。